

現在、脳神経内科では、バイオバンク ご協力者からいただきました

試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。この研究ではご提供していただいた試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された試料・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

CADASIL-Genome study

【研究対象者】

2017年4月より2028年3月までの間にCADASILと診断された方

【利用している試料・診療情報等】

（試料）ゲノム DNA 5 μ g

（診療情報等）研究対象者背景（性別、生年月、利き手、出身地、教育年数）、既往歴、併存する合併症、家族歴、嗜好、併用薬、身体所見、認知機能検査、臨床検査、頭部MRI検査

【試料・診療情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【利用の目的】

脳卒中や認知症および片頭痛、気分障害、アパシーの発症に関連する遺伝子多型を同定することを目的としています。

【遺伝子解析研究】（有）

【共同利用研究機関・共同利用責任者】

University of Cambridge. Professor Hugh S. Markus (UK).

Leiden University Medical Center. Professor Saskia Lesnik Oberstein (Netherlands).

【外部機関への情報等の提供】

情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：パスワード付きデータを新品のDVDに保存し、直接手渡します。

またSNPアレイのため、片山化学工業にゲノムDNAの解析を依頼する予定です。解析依頼のために業者にDNAを提供する際には、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

【利用期間】

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日9時～16時）
電話：06-6170-1070（内線31050）、ファックス：06-6170-2179
Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

研究許可日より 2029 年 3 月までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：脳神経内科部長 猪原匡史

研究内容の問い合わせ担当者：脳神経内科医師 齊藤聡

電話 06-6170-1070（代表）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp